

不完
全肯
定

成人指定



不
完
普
四

ウチ…

東條希っ！

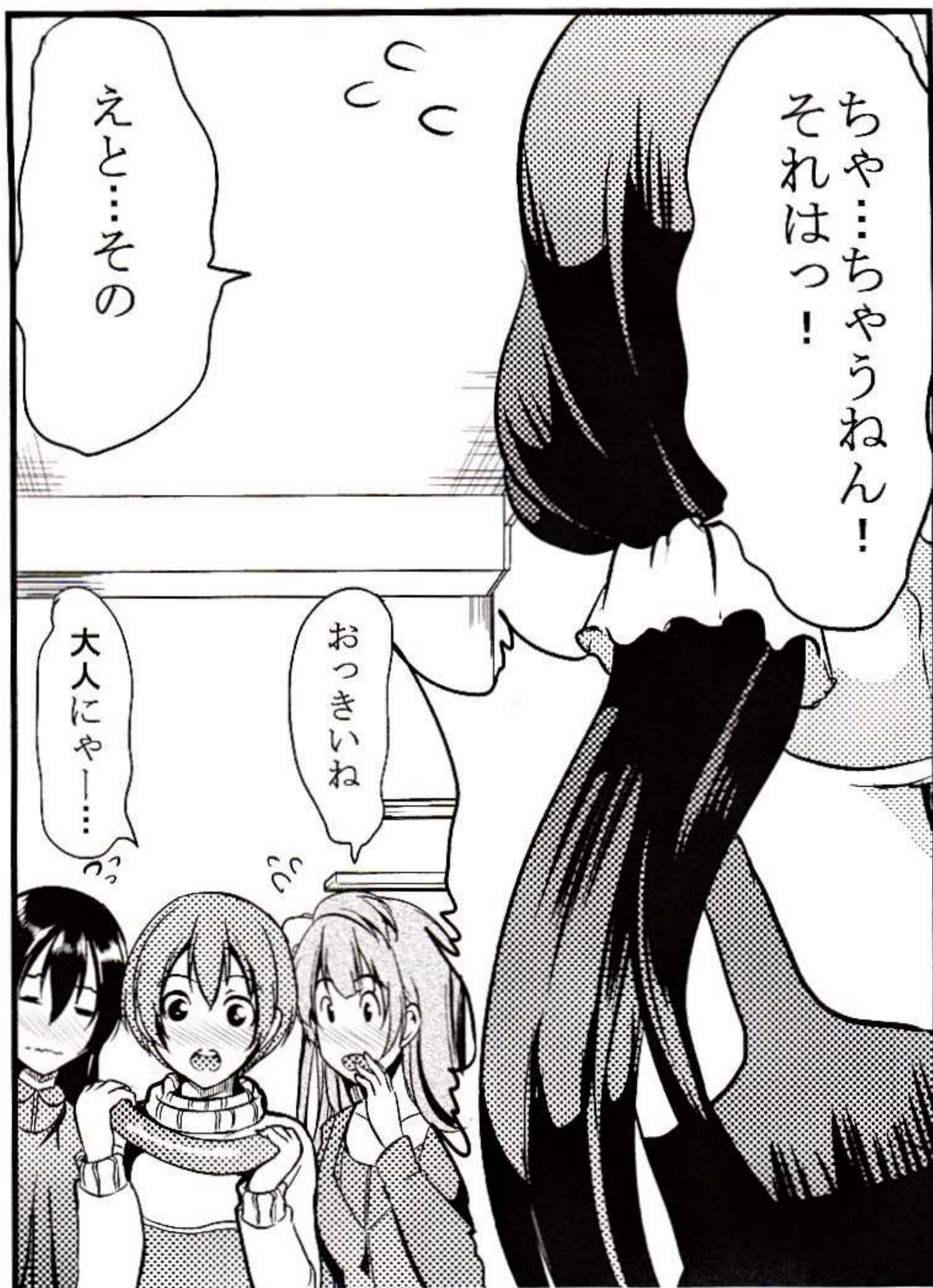
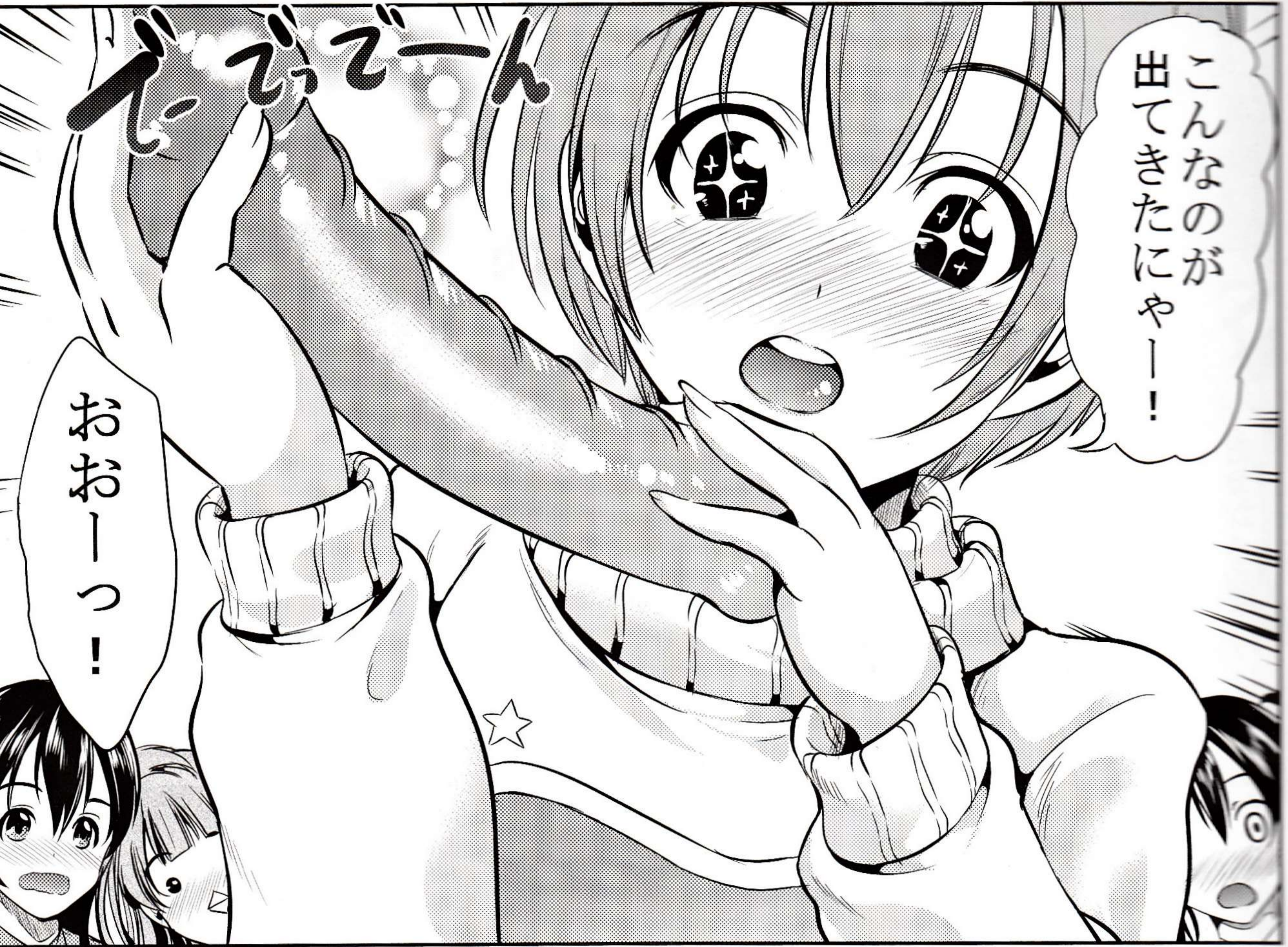
思えば
あの時

私はもう
救われていたのかも
しれないわね…

だから…

助けたかったの…
最愛の友人を





穂乃果達だつて
生徒会室で
お盛んだもんね

お盛んももの

ほあー!!



そんな事いったら
真姫ちゃんだつて
にこちゃんも練習前に
シックスナインしてるもん!

ちよ!?



バラサナイデヨ!

違うにや!
男の子っぽいけど
凧はネコにや!

タチは
かよちんにやー!

自分から言うノオ!?



い...いいでしょ!
迷惑かけてないんだし!

おしっこは
かけてるにやー!

海未ちゃんの名誉の為に
言っておくけど処女だからね!
穂乃果アナルしか弄ってないもん!

私がアブノーマル
みたい方
やめてください!

凧ちゃん...私
バリタチじゃなくて
リバ有りだよ...

ホノカチヤン...
だから消臭剤置こうって
いったのに...



ええんとちやう?

気持を体で伝えるのって
変なことじゃないやん



エリチなんて
かなーり歪んで
たしね

の…希っ!?

そうなの?

二人とも凄い
信頼し合っていると
思うけど…

まあ…今でこそはね

あれは私が
生徒会長に
なったばかりの頃
だったかな

あの頃の私は必死だった
なんとか学校を
存続させようとしてね

自分にも周りにも
完璧を押し付けて

少しの甘さも
許せなくて

だから正直
周りから孤立しててね

それで…

エリチっ！

何で…なんでよ！
どうして皆解って
くれないの!?

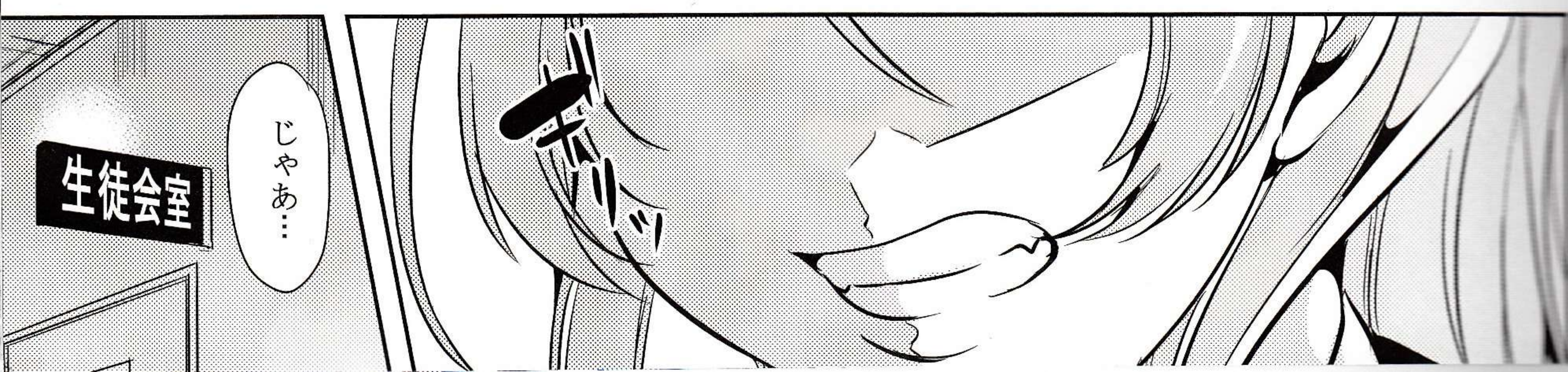
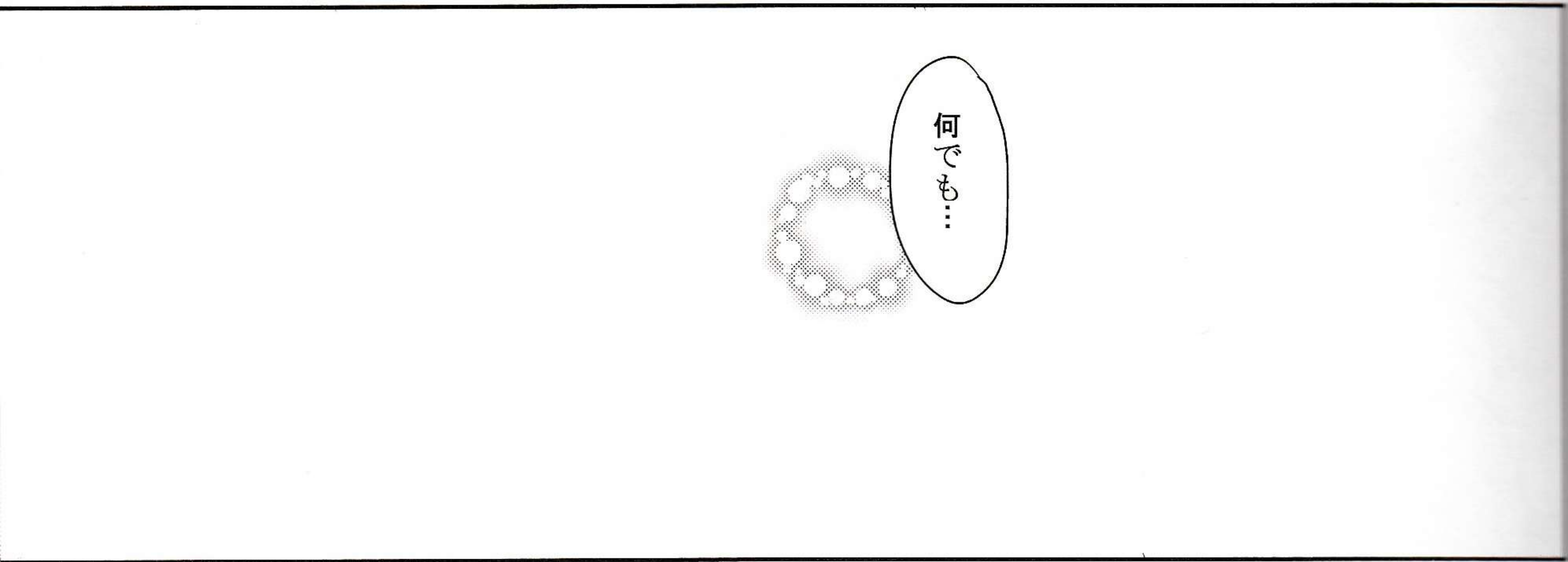
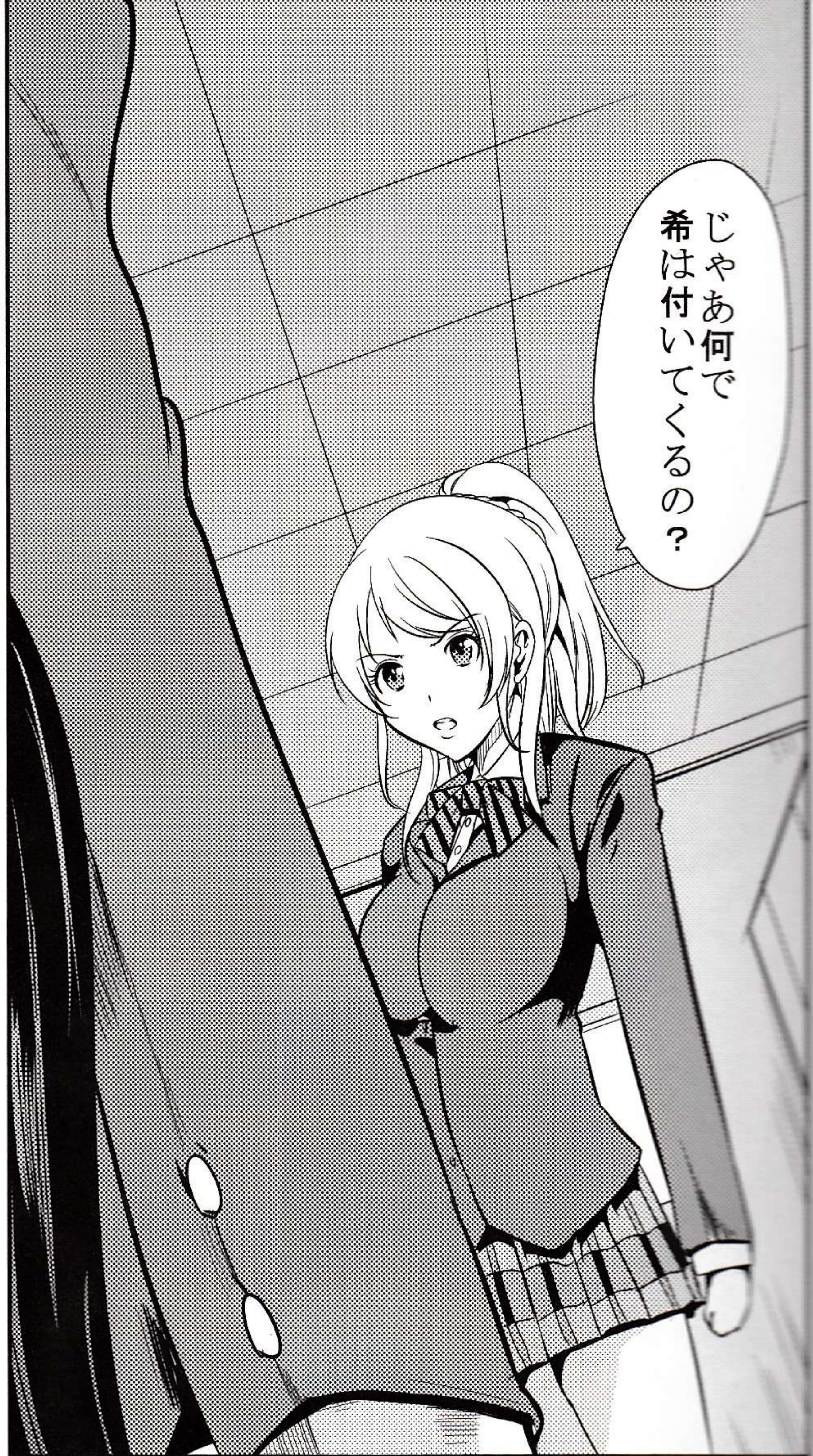
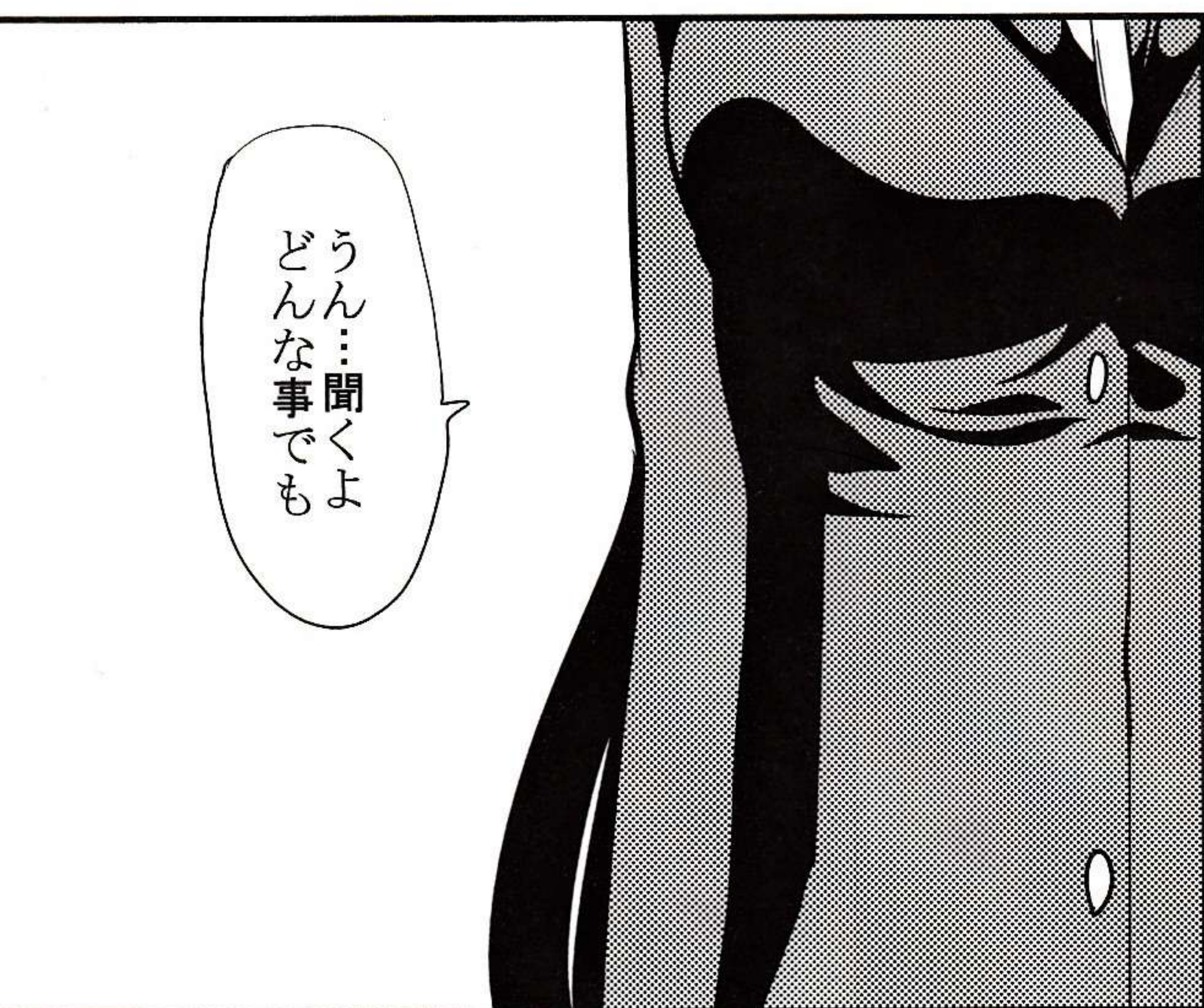
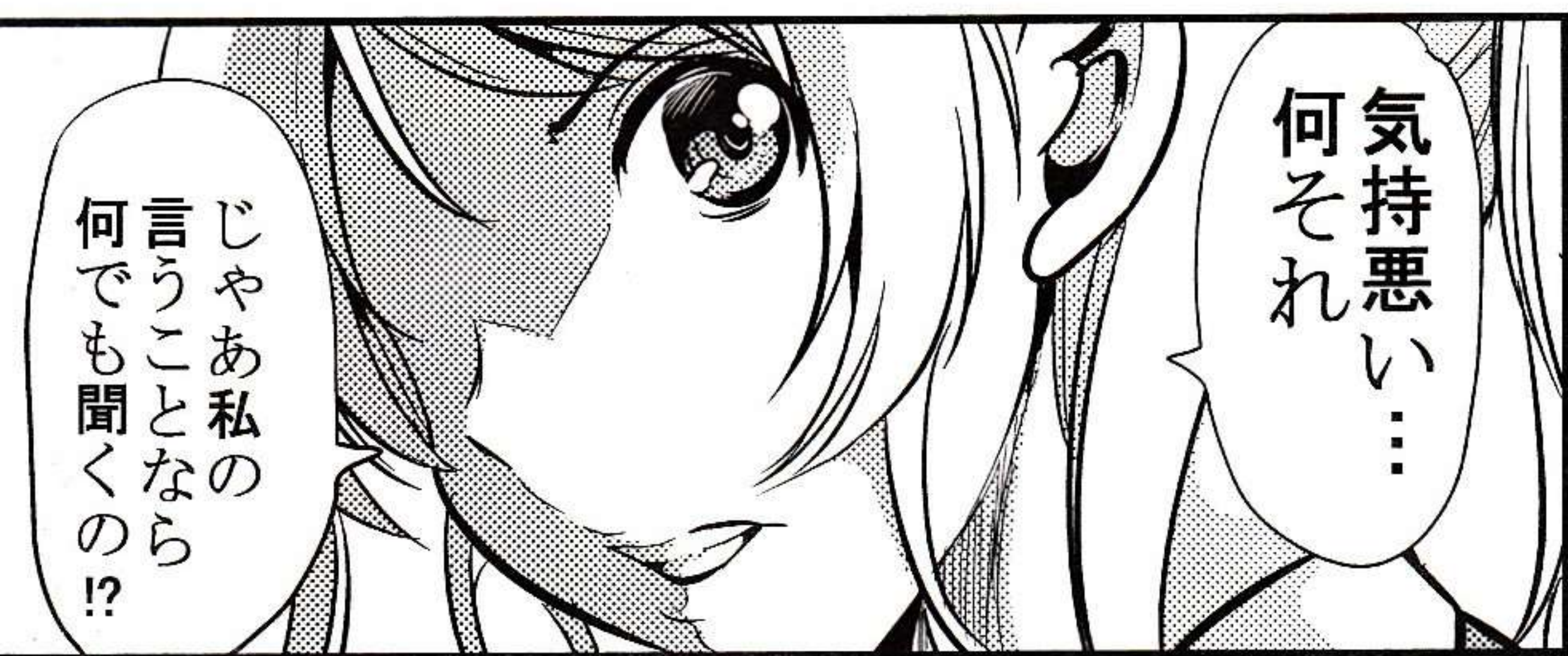
エリチ止めて！

血…出てるやん…

学校の為に…！

私は必死にやってる
だけなのに…！

エリチ…
そんなに強張ってたら
皆も付いてこないよ？



足を舐めなさいよ

何でも言うこと
聞くんではしょ?

希



嫌って
言うんでしょ？

どうしたの？
嫌なら出てって
いいのよ？

どうせ今までも
一人だったのよ…
今更…

んーん
そうじゃなくて

上手にできんかったら
エリチに申し訳ないなって…

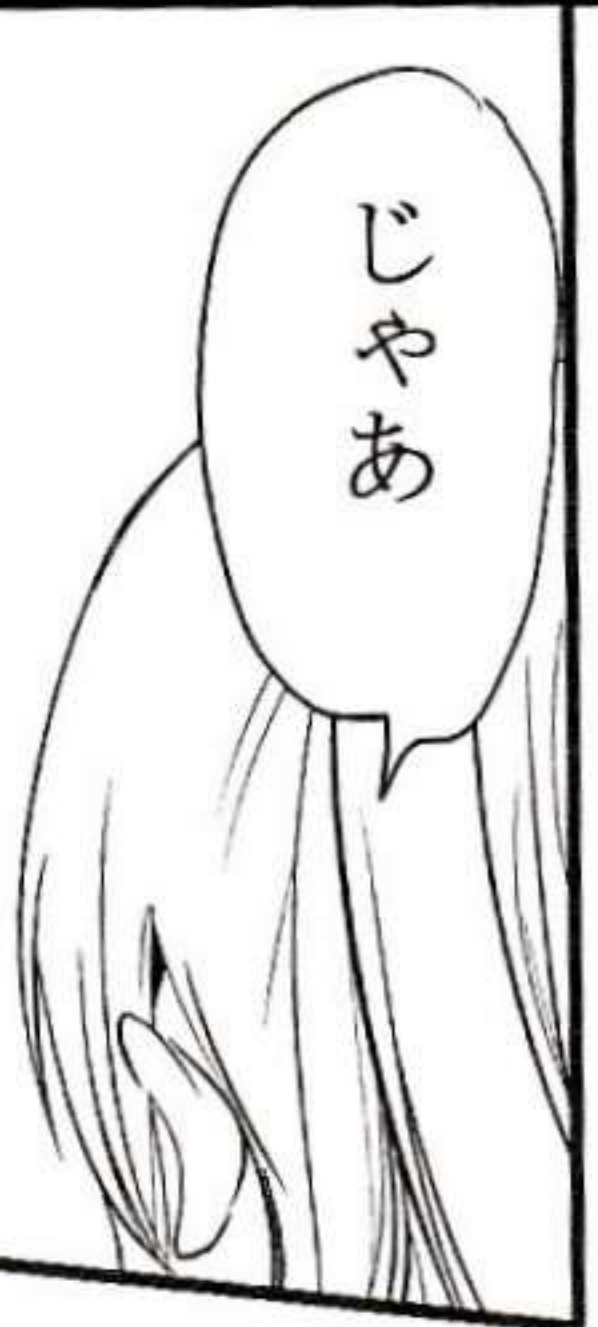
え…？

はっ はっ はっ

はっ はっ はっ
はっ はっ はっ
はっ はっ はっ

はっ はっ
はっ はっ
はっ はっ

…



そうよ悪い？
優等生のお嬢様とでも
思ってたのかしら

寂しい女でしょ？
笑いなさいよ

笑わないよ
うちも同じやもん…

次から…
二人で出来るね

ばっ！
馬鹿にしないで！

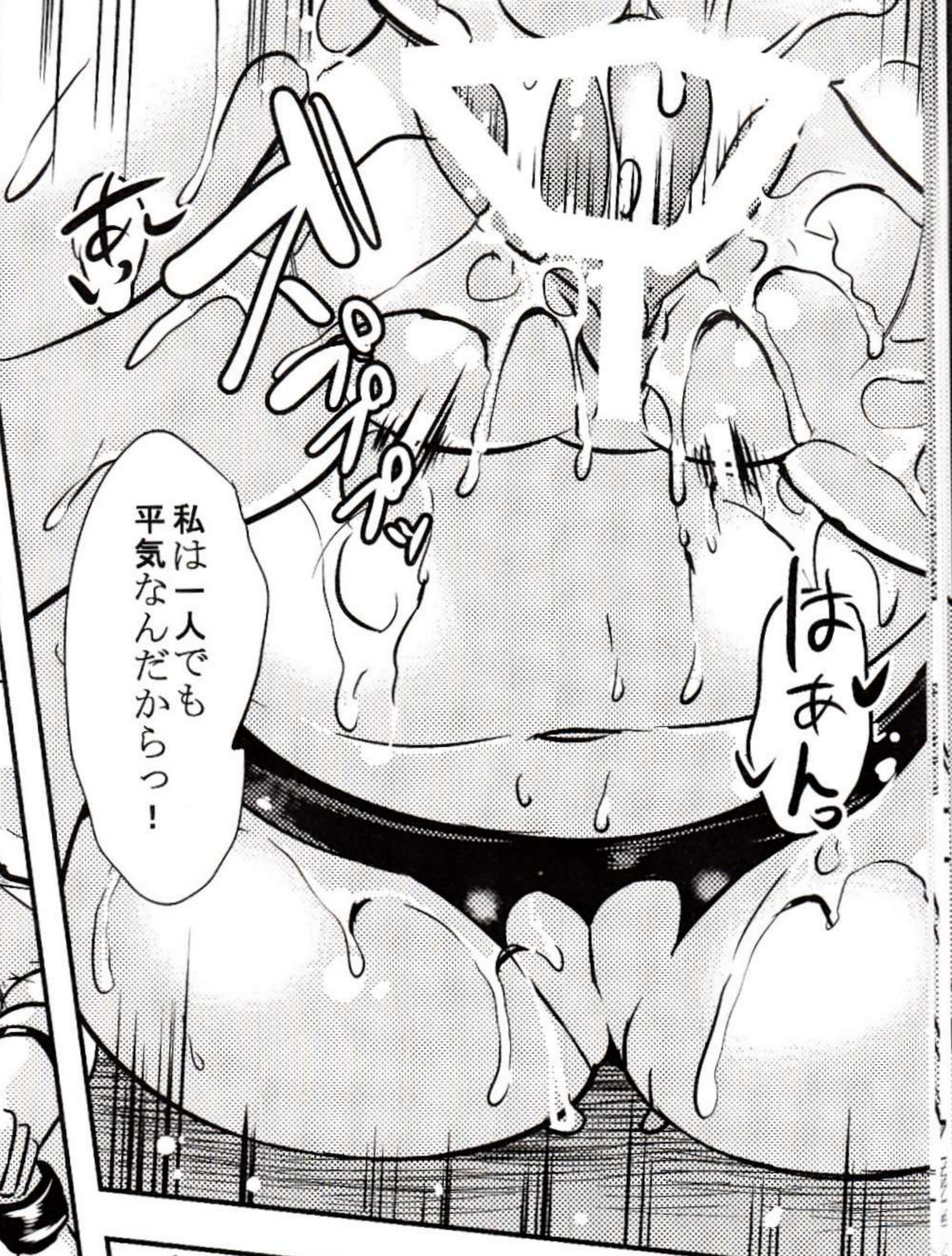
何ですって？





希なんかっ

好きじゃないわよっ!

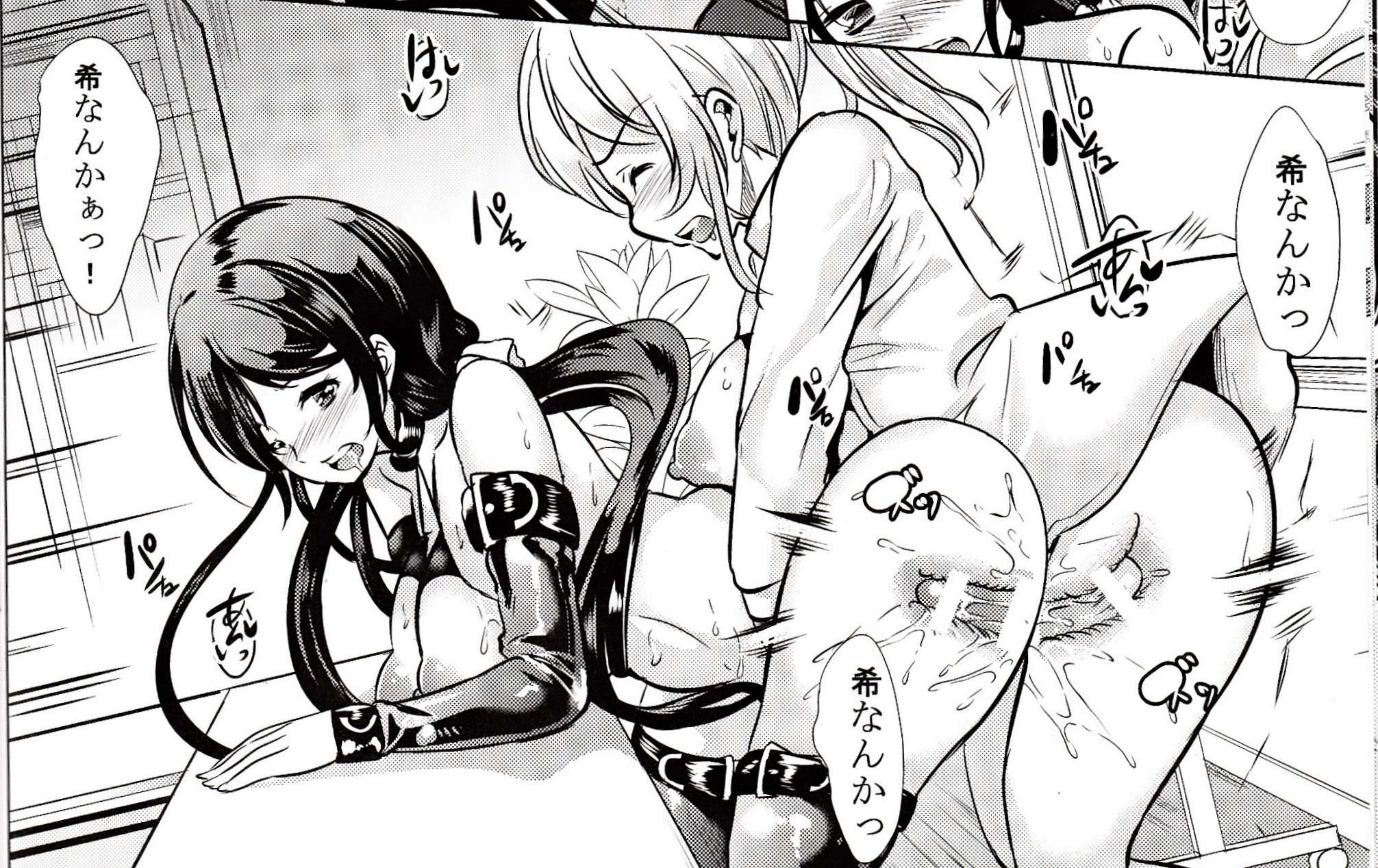


私は一人でも
平気なんだからっ!

はぁん



犯されて
喜ぶ希なんかっ



希なんかあつ!

希なんかっ

希なんかっ

なのにつ

希つてっ…あつ
呼んでくれるっんやね

はっ

皆のことは
アタタって
呼ぶのにつ



うん…

うん



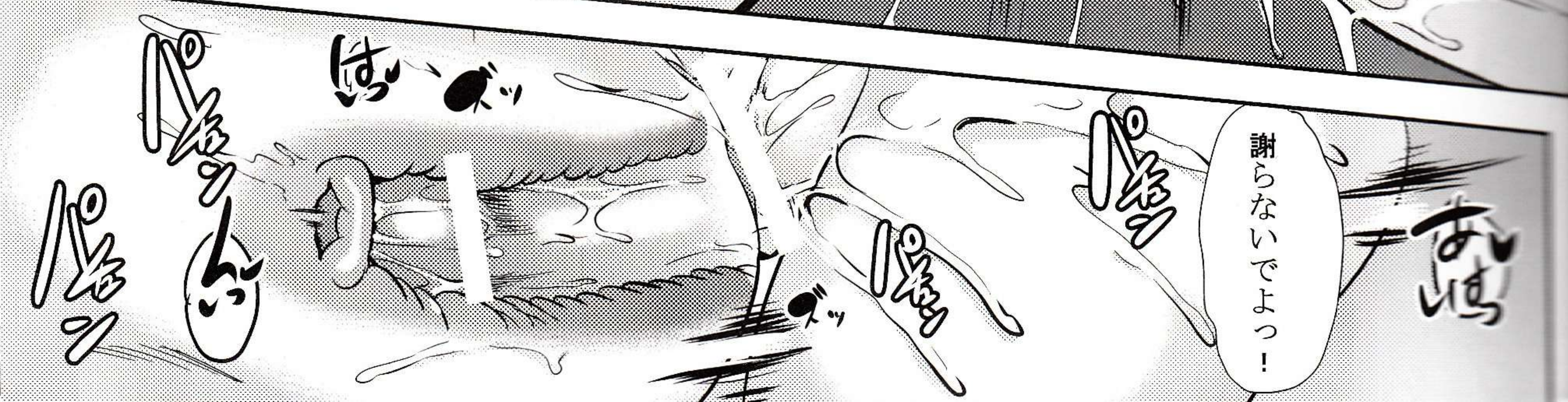
ごめんなつ

う…んっ



はっ

はっ



謝らないでよっ！

はっ



遊びよっ！

うんっ

嘘

眼しぬこしぬこ...

はぁ

嘘

うんっ



希はっ

あつ
八つ当たりのっ

はぁ



玩具位にしかつ
思つてないわよお！

嘘

あつ

はぁ

どれだけ
否定しても

うんっ
だからっ

ウチの片思い
やんなっ

はっ

うん

はっ
うん

希は全部
肯定した

全部見透かしてる
見たいに

希っ

えりっ……ち

うん

ごめつエリチツ
気持ちよすぎてっ

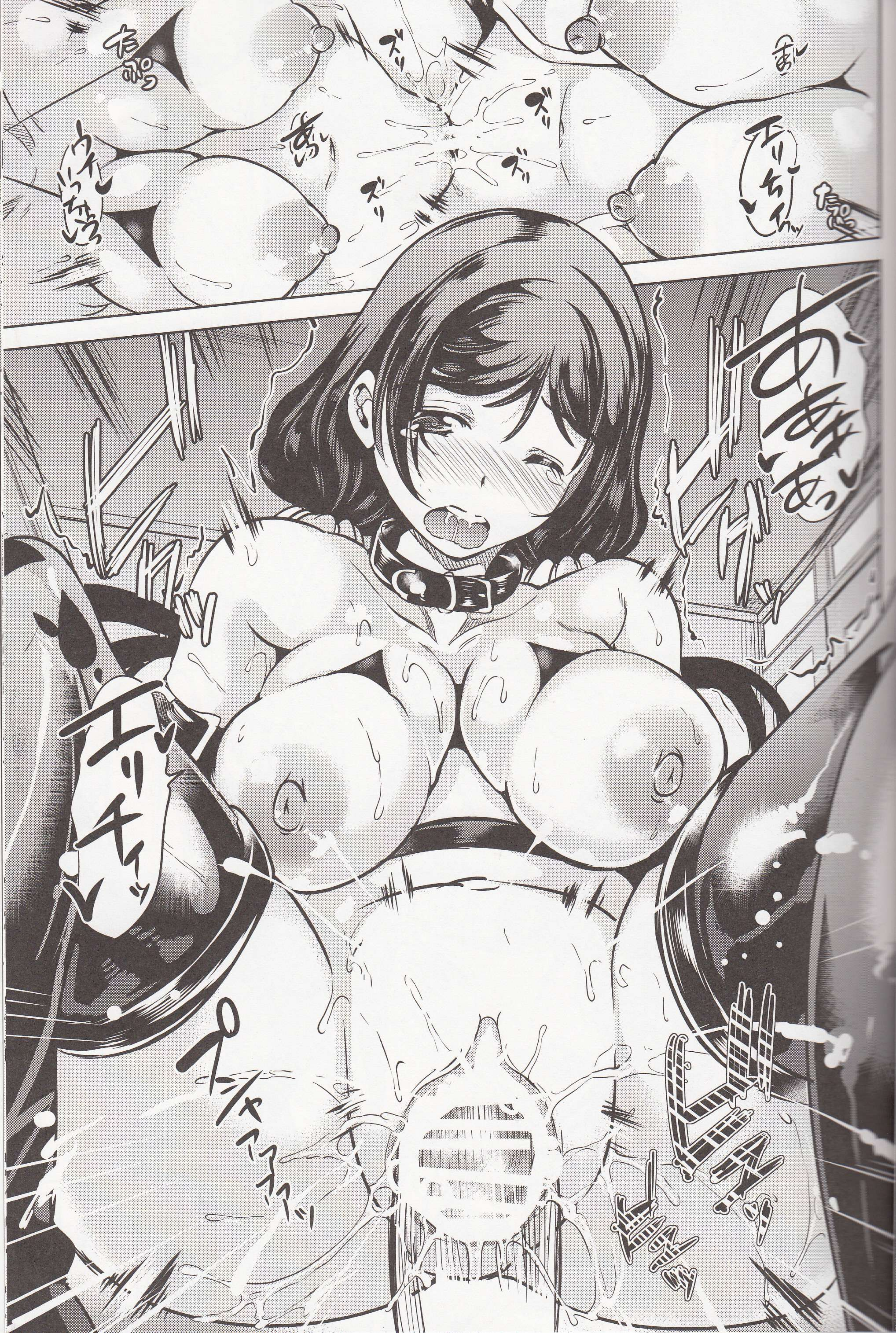
腰っ
止まらなごっ

希っ...あつ

ウチっ

もうあかんっ





おのろ

おのろ

おのろ

おのろ

おのろ

おのろ

おのろ



エリチ：
よかったよ...

んん

はっはっはっ

はっはっはっ



少しは：
気が晴れた？



本当はた

希っ！

あっ



何で希は
笑ってるのよ！



酷い事したのに！



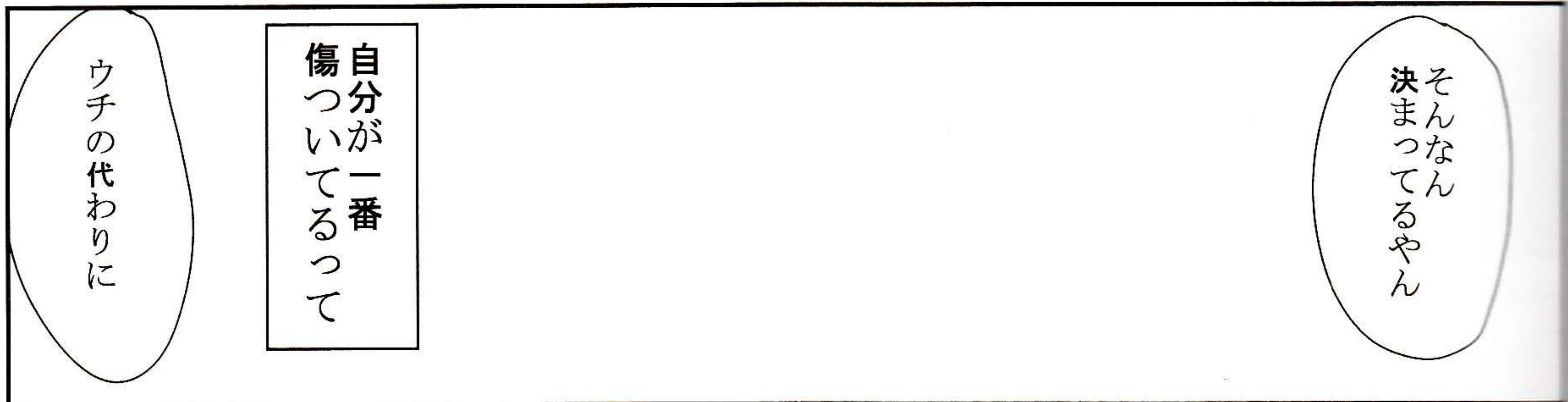
なんでっ

なんでよっ！



希を
傷つける度…

ダッ



そんなん
決まってるやん

自分が一番
傷ついてるって

ウチの代わりに



エリチが

だって希は…

泣いてるからやん

一番の友達だから

エリチ…
完璧ってな

完璧は孤独…

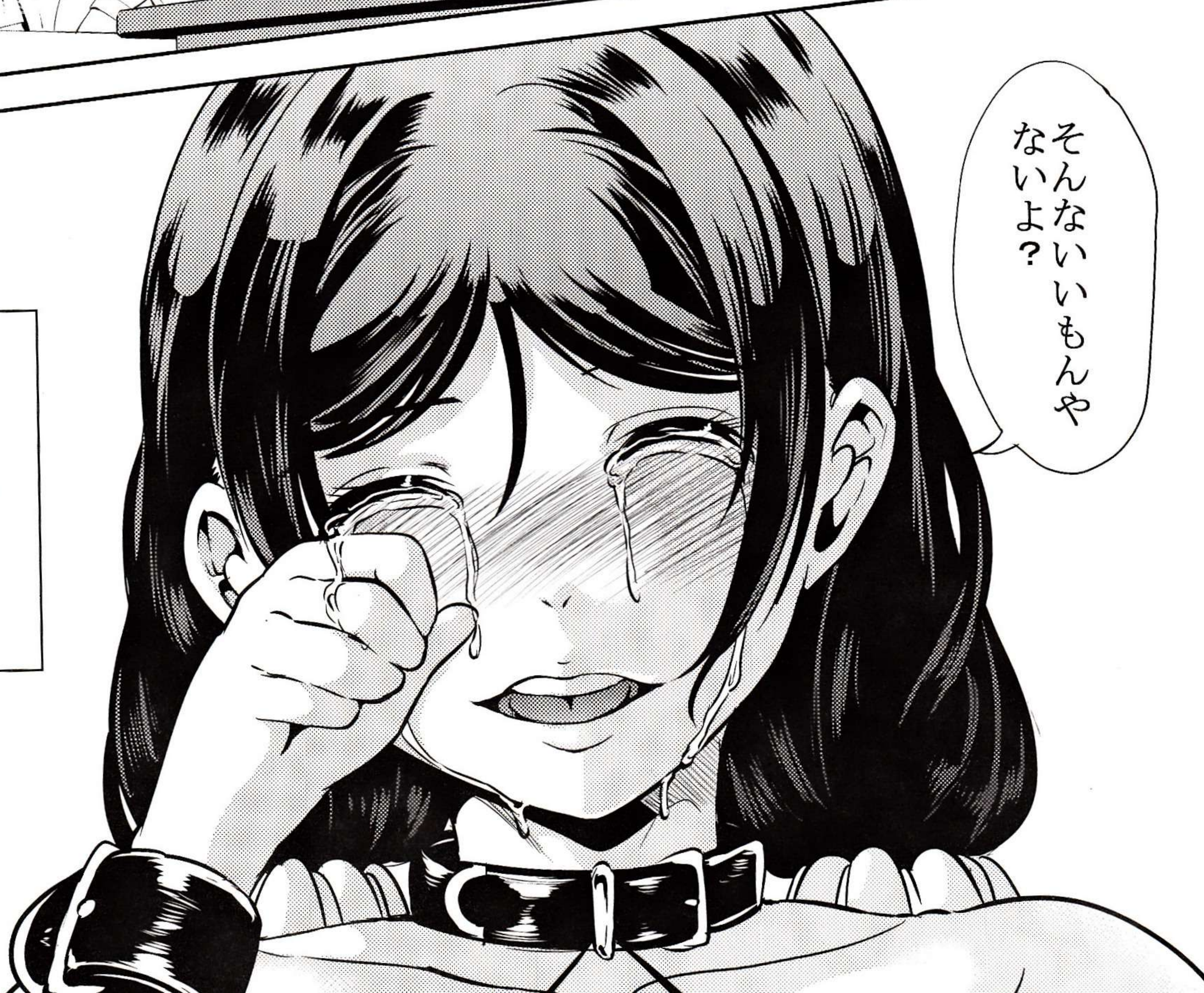
それ以外を
必要としない
って意味やんね

ダメとは
言わんよ？

でも
一人ぼっちって

そんないいもんや
ないよ？

その時
私は



初めて
希の涙を見た

エリチなんで
ウチが付いて
来てくれるのかって
言っちゃったやん？

逆なん
エリチだけが…

ウチの傍に
いてくれたん…

ぶっきらぼうに
そんな気なさそうに



一人は本当に
辛いって

傍に居てくれた
たった一人の友人なん

のぞみつ

希は知ってた…

わっ

ごめんなさい…

うん

ごめんなさい…

うん

ごめんなさい

うん

ありが…どう

だから

強がりな私の
傍に居てくれたんだ…

うんっ





夢



私達の...



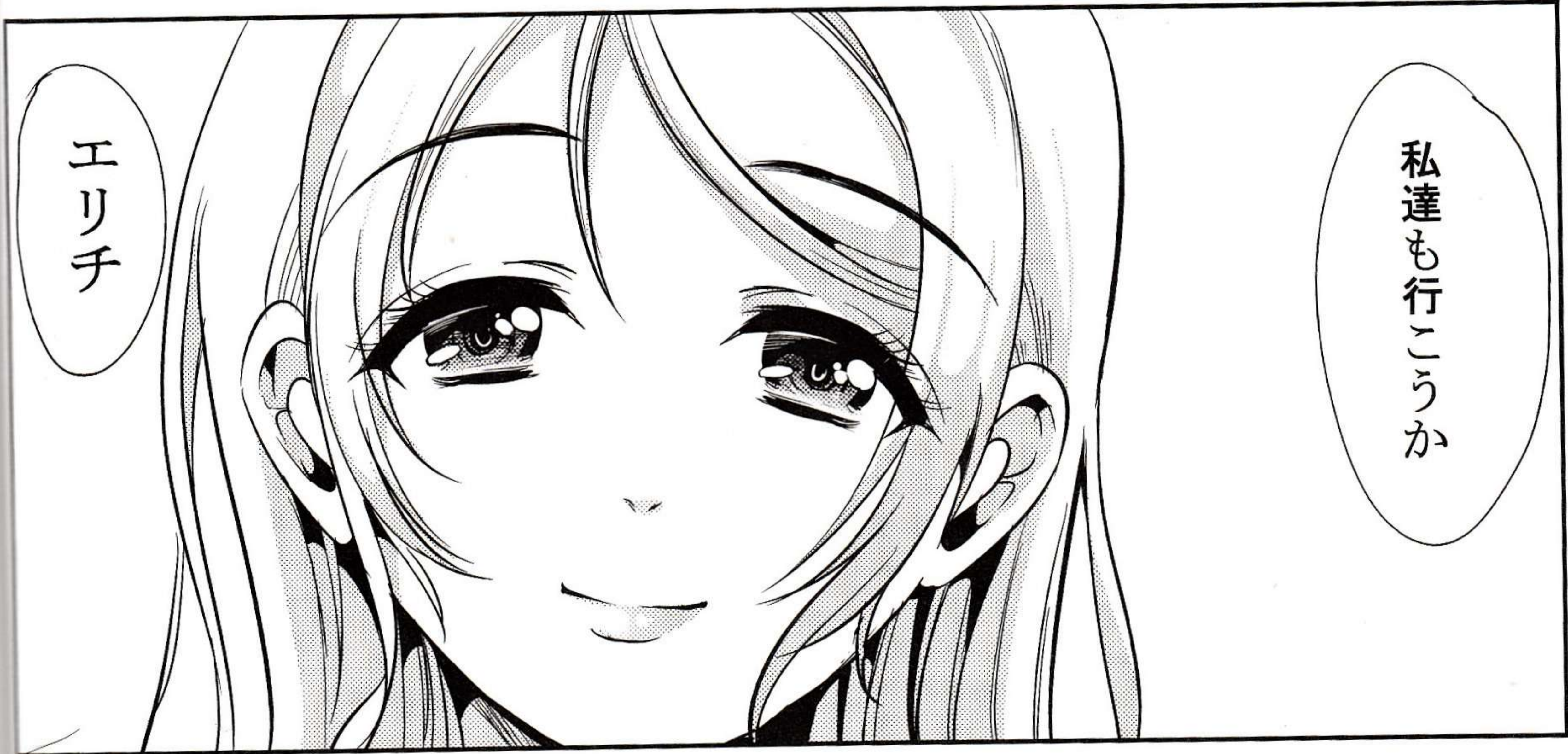
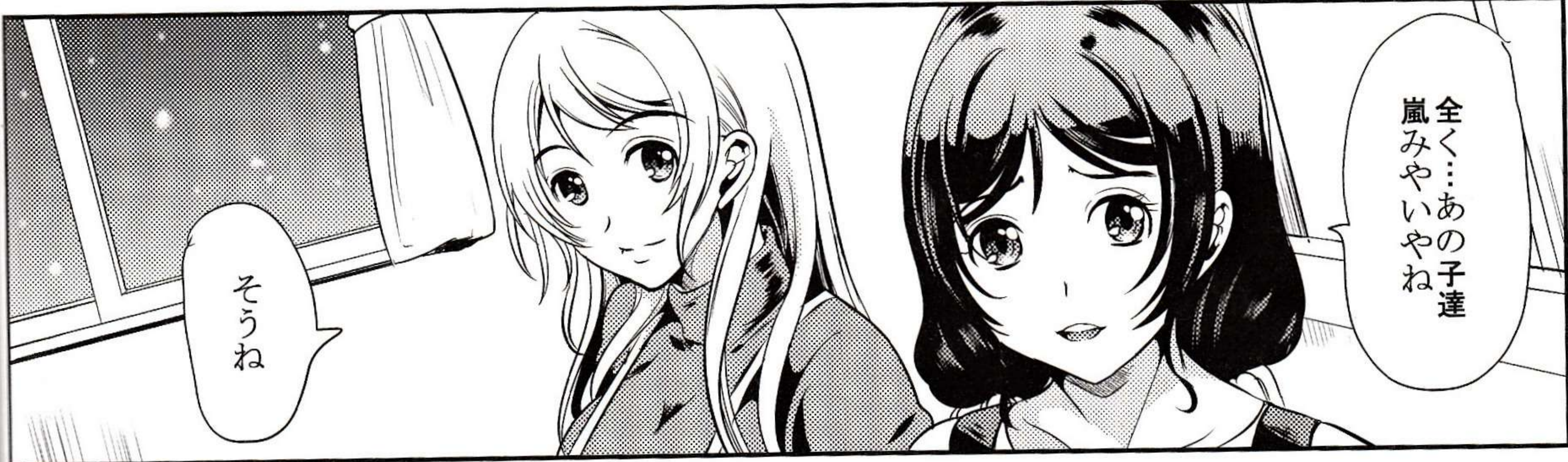
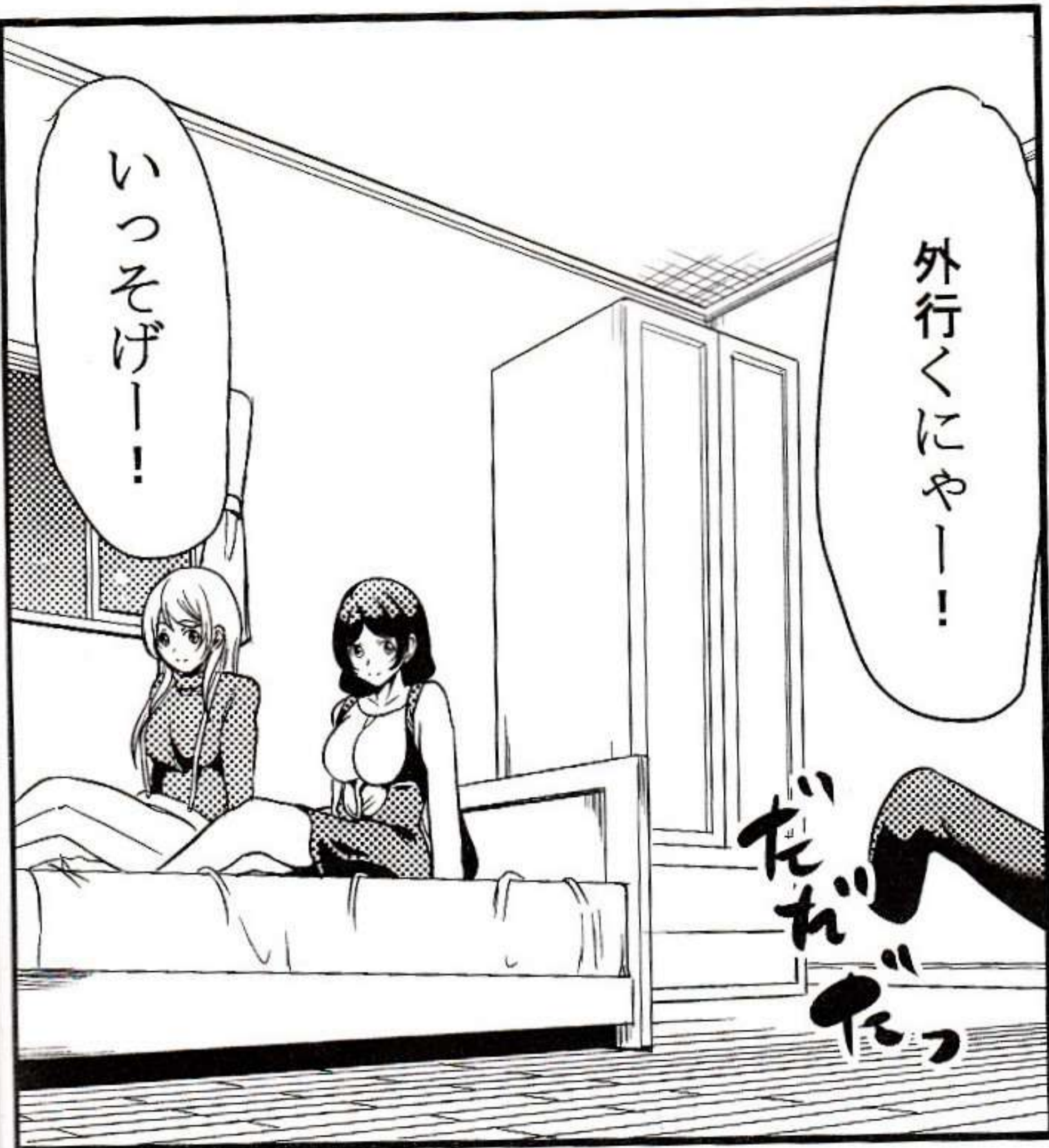
希ちゃんと
絵里ちゃんと



そうね

ありがとう...

昔の私は
見てるかしら



誰かに頼る
不完全さが

私達の
力だから

古今事考

奥付

発行日 2014/8/17

発行 弥美津峠

代表 鳳まひろ

連絡先 yabituza@yahoo.co.jp

印刷 スターブックス様

弥美津味